

若事研広報

No. 204

編集・発行

岩手県公立小中学校
事務職員研究協議会
総務部

平成31年1月28日

第22回東北地区公立小中学校事務研究大会宮城大会
第52回宮城県公立小中学校事務研究大会名取大会
期日：平成30年10月11日(木)～12日(金) 会場：名取市文化会館

平成30年度功労者表彰

平成30年度東北地区公立小中学校事務職員研究協議会功労者として、奥州市立江刺東中学校 高橋広道前会長が受賞されました。おめでとうございます。

経歴及び功績(東北事務研)

- ・研究担当者 6年
平成15年度～20年度
- ・理事 4年
平成21年度～24年度
- ・副会長 5年
平成25年度～29年度



参加者の感想

いわてのグランドデザインをめざす学校事務職員の姿の一つに、『学校事務を総合的に捉え、校内の全ての学校事務を総括する事務職員』とあります。職務分担一つをとっていても学校間に差異があるので、異動の度にモチベーションが上がったり下がったりするという経験をしていました。

昨年4月、「事務に従事するからつかさどる」に学校教育法が改正され、今年4月に市の管理運営規則も改正されました。この法改正は、『校内の学校事務を総括する』という職務の確立につながる良いきっかけになると期待しています。

今回、東北大会に参加して、研究集録の原稿や発表から「事務をつかさどる」の法改正をきっかけに、より一層の向上心を持って、学校運営に主体的に積極的に参画していく事務職員を目指すという気運の高まりを感じました。事務職員の変容は、求められているだけでなく、事務職員も望んでいることだと思います。一方で、ただ業務量が増えてしまうだけでは大変なことになるとも思いました。子どもたちのために何ができるか、教育支援として何ができるかを考えつつ、事務職員自身の仕事の効率化(事務改善)にこそ、一番に取り組んでいかなければならない時だとも思いました。そのような考えをベースに、支部での研究に向き合っています。

遠野市立遠野小学校 主任主査 松田嘉子

初めて東北大会に参加させていただきました。参加したのは第二分科会。岩手県の発表から始まり、山形県の発表まで東北6県の個人発表を聞くことができました。

岩手県の発表では事務職員だけでなく教職員や子どもたちを巻き込むことで効果が広がっていくということが具体的な実践を基に発表され、相乗的に充実感を得る取組だと感じました。他県の発表では、事務職員としてできることや目指す事務職員像について深く掘り下げて考えてみたり、職務内容が改められたりしたことによる考察的なものや、税の学習でのゲストティーチャーの実践も発表されました。私たちの仕事はいろいろな形へと変幻自在なのだと感じました。

記念講演で話された企業価値を高める要素が日々の業務にも通用すると思いました。「ありがとう」の言葉を人生の中で何回聞けるか？との質問があり、その観点で考えたことがありませんでした。

宮事研からは二つの発表があり、一つ目は「学校事務職員としての災害の備え」の発表でした。防災意識や日頃の備えについての実態調査の実施、研修会での学校防災テスト実施などを支部で行っていることが興味深く感じられました。二つ目は「共同実施の未来へ向けて」の発表でした。管内の二つの町の共同実施が紹介され、各県の共同実施の現状も随分違いがあるものだと改めて感じました。

宮古市立田老第一中学校 主査 三上 彩



第1分科会B「いわてのグランドデザイン」 ～みんなのできる実行策～2018チャレンジ 岩事研研究推進委員会の皆さんありがとうございました！

福島県からは、課題解決のツールとしての「アクションプラン会員実行シート」活用の実践が発表されました。重点項目、行程表、自己評価を視覚化することで分かりやすく、さらに共有して次に生かせる形になっていました。実際に使用されたシートなどが壁面に掲示され、それを見る時間も設定されていたので、ゆっくり見ることができました。内容や取組期間の制限はなく、シートの様式変更も可という自由度の高い設定が活用につながっていると感じました。

山形県からは、学校事務の概要と「やまがた花笠プラン」策定までの経緯、具現化のための取組と課題について示された後、その課題解決に向けた取組が発表されました。法改正による「事務をつかさどる」や「共同学校事務室」に係ることだけでなく、事務職員の年代構成の偏りや今後の世代交代についても取り上げられており、課題が共通していることを再認識しました。

最後に岩手県から「いわてのグランドデザイン」～みんなのできる実行策～2018チャレンジとして、実践事例の発表がありました。洋野町大野の共同実施組織でのOJT、事務長発令を受けての職務確立への取組、学校業務改善アドバイザー派遣事業を活用した北上市の取組、県事務研の研修体系の構築について、と盛りだくさんの内容でした。

九戸村立戸田小学校 主任 浅水 香織



「ありがとう」の言葉を
人生の中で聞けるか？

記念講演「ティスニー掃除の神様が教えてくれたこと」

講師：(株)ヴィジョナリー・ジャパン
代表取締役 鎌田 洋 氏

3 県の実践が発表されました。青森県は、世代交代と課題解決に向けての取組・めざす姿の指針となるグランドデザインの策定。秋田県は、会員の実践事例集の作成・現状課題の把握・グランドデザイン改定の取組・職務標準表制定の働きかけ。宮城県は若手へのアンケートと実態調査・学校事務のスタンダード基準の策定・意欲向上のための取組が話されました。どの県の発表からも「若手」という言葉が何度も出され、本県と同様にベテラン層の大量退職を控え、若手の育成が急務であることがうかがえました。発表者は「若手」と呼ぶにふさわしい年代の方が多い印象を持ちました。青森県ではグランドデザイン改定の作業を若手事務職員が担っているとのことでした。

個々の事務職員の経験や意識の差を始め、課題解決に向けた県教委との連携や共同実施との関わり方と問題は山積みですが、事務職員一人一人の方向性を示すための「グランドデザイン」の策定は、「つかさどる」事務職員像に必要なものだと感じられました。

「つかさどる」ための仕事ではなく、日々の業務を確実にこなし、それが「つかさどる」につながるように、自分のした仕事で先生方が笑顔になり、子どもたちにも良い影響を与えられる存在になれるよう努めたいです。

北上市立更木小学校 主事 菊池 麻里奈



とても美味しいお弁当でした！

第 23 回東北地区公立小中学校事務研究大会秋田大会

2020 年開催予定



せば、こんどは
秋田であうべ！





各部の事業報告と今後の予定について協議、確認されました。

1. 総務部

- ・ 公立小中高等学校事務職員連絡協議会について
- ・ 資料センター（仁王小学校内）整理について
- ・ 全事研セミナーについて
- ・ 役員選考委員会について

2. 研修部

- ・ 第1回岩手県公立小中学校事務全体研修会について

3. 研究部

- ・ 「いわてのグランドデザイン～みんなでできる実行策～」実践の推進と検証について
- ・ 第22回東北事務研究大会発表の取組について
- ・ 50周年記念全国公立小中学校事務職員研究大会千葉大会の発表の取組について
- ・ 研究者との連携について
- ・ 全事研調査について

4. 情報交換

- ・ 各支部での活動状況について
- ・ 事務状況調査の指摘について



研究大会のお知らせ

『第51回全国公立小中学校事務研究大会(岡山大会)』

期 日：2019年8月8日(木)～8月9日(金)

会 場：岡山シンフォニーホール 他

『第49回岩手県公立小中学校事務研究大会』

期 日：2019年10月11日(金)

会 場：いわて県民情報交流センター アイーナ

※遠野・和賀・二戸支部の発表が予定されています。



編集後記

今回もたくさんの方のご協力をいただき、無事に発行することが出来ました。東北事務研大会はミニ広報でも取り上げています。合わせてご覧いただければ幸いです。前回の203号も含め、各研究大会や研修会の感想の執筆をご快諾いただいた方々には感謝し尽せません。本当にありがとうございました！

今年は第49回岩手県公立小中学校事務研究大会がアイーナで開催される予定です。皆様のご参加お待ちしております。また、今後とも岩事研広報のご愛読のほどよろしく願いいたします！

